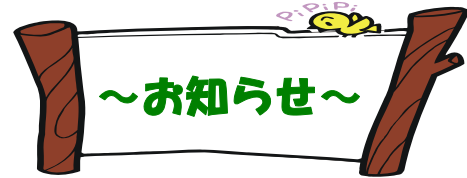


～リハビリ通信～



集中して作業に取り組んでいます。

これは箱折り作業の風景です。企業から委託された化粧箱を参加者が分担して完成させていきます。それぞれが「仕事」として箱を作成・納品することで責任感や集中力、活動と休憩のバランスなどの社会生活技能の獲得・向上を目指していきます。また、このような作業は援護寮や作業所などの施設でも多く取り入れられており退院準備として利用する方もいらっしゃいます。



♪新しい制度がスタートします

2008年（平成20年）4月から高齢者の方々の医療保険が変わります。

75歳以上の方全員が「後期高齢者医療制度」の対象となります。詳細につきましてはパンフレットを用意しておりますのでお気軽に地域医療連携課までご相談ください。

♪新しい保険証をご提示ください

古い保険証から新しい保険証に切り替わった方は新しい保険証を医事課へご提示ください。また、保険証が変更になったときは、すみやかにご提示ください。

♪ボランティアさん募集

当院では入浴後のドライヤーかけや手芸、書道などを患者さまと一緒にやってくださるボランティアさんを募集しています。お時間のとれる方は是非ご連絡ください。

地域医療連携課 福田



うきうき編集後記

3月と言えどもまだまだ寒い日が続いております。今年は関東地方でも雪の降る日が何日もあり大変でしたね・・・。

ところでみなさん塩カルってご存知でしょうか？雪の降る地方などで凍結防止に道路などにまかれる正式名 塩化カルシウムという白い物質。今年、我が家では降雪のあと玄関先の凍結防止としてこれを買って出掛けました。母親とふたり塩カルをまけば雪掻きしなくていいんだ！と心はずませホームセンターへ。ところが入口に積まれた塩カルの脇をみると「雪を溶かすものではなく雪や氷をシャーベット状にして雪掻きをしやすくする」との注意書き・・・。ものぐさ親子の意に反するものでした。そんなわけで結局今年もせっせと雪掻き！！雪ってめんどくさいな～。（もち）



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町大字和泉 704

TEL:0493-56-3191/FAX:0493-56-4831

昭友会ホームページ：<http://www.kokoro.or.jp>

平成20年度へ向けて

春一番が訪れ、緑の恋しい季節となりました。今年度も早いもので残り1ヶ月となりました。昭友会が滑川の地に根ざしてから30年を迎え、今までの歩みを確かなものにしようとして19年度を『改革元年』と称し活動してきました。

厚生労働省の勤める精神障がい者の退院促進とは、『入院医療中心から地域生活中心へ』と精神科医療を転換していくことです。その実現の為には、職員の意識改革、患者さんへの動機付けの強化、社会の理解の三要素の整備が必要と考えます。

私達は医療の専門職集団として、外部・内部の研修を充実し、全国での精神障がい者の取り組みを学び職員の意識改革に努めてきました。入院時から退院後の生活を見据えた治療や作業療法を実施し、退院前から自宅を訪問し環境の整備、服薬指導、生活の技能の向上、ご家族との協力体制を整えています。

また、患者さんの退院意欲を高め、安心した社会生活が送れるように通院、デイケア、訪問看護、地域との連絡体制を整えてきました。

滑川祭りへの出展と参加、各行事への地域の方々の招待、ボランティアの受け入れ、広報誌の作成は患者さんが地域に溶け込めるよう積極的に働きかけたほんの一例に過ぎません。ご家族の理解をより深める為に家族懇談会では啓蒙活動もしております。

統合失調症は100人に1人、うつ病は7人に1人がかかると言われ、精神疾患は誰でもかかりうる病気であると認識され始めていますが、偏見に怯え消極的になっている患者さんを勇気付けたいと思っています。

来年度はこれらの活動の更なる定着にむけ『理念から実践へ』をモットーにしていきます。患者さんが地域で生活していくばかりでなく、仕事を持ち自立した生活をしていけるようになればと考えます。他医療機関、地域の皆様の力を借りながら、患者さんの地域生活をサポートしていきたいと思っております。

医療法人 昭友会 理事長 工藤 浩三
埼玉森林病院 院長



今月のくすりばこ

『食中毒について』

栄養管理部長（内科医） 細谷 英雄

食中毒とは有毒物質が含まれた食物を飲食することにより起こる病気の総称です。細菌やウイルスの感染によるもの、フグ、きのこなどの自然毒や化学物質によるものがあります。

日本では2001年に輸入されたカキによる赤痢の流行がありました。東北地方ではノロウイルスやロタウイルスによる胃腸炎が子供に多くみられます。最近では餃子による農薬のメタミドフォス中毒が報道されています。また、腰痛や関節痛に対して投与される痛み止めは胃や十二指腸に潰瘍を作ることが知られておりますが、痛み止めや抗生物質による腸炎も最近多くなっています。日本国内で作られた食品による食中毒は減っていますが、輸入食品や海外旅行時に食べた食品による中毒や、薬品による腸炎が多くなると予想されます。

症状：発熱、水のような下痢、嘔吐、腹痛がみられます。しかし慢性的な下痢や微熱、体重減少、時には血便がある時もあります。

予防：海外旅行中は必ず加熱調理した料理や、加熱殺菌済みの水をとってください。東南アジア旅行中、刺身を食べて帰国後に胃腸炎になった方がおられました。

対策：吐いたものや便に素手で触らないこと。脱水を防ぐためにぬるいスポーツドリンク（その他の清涼飲料水では効果がありません。）をたくさん飲んでください。

病院受診時の注意：食品の名前、他の家族が発病しているか、海外旅行したか、ペットとの接触があるかなどを医者に伝えてください。

さらに、その時飲んでいるお薬も医者に伝えることが重要です。

病院行事



病棟レク

平成20年2月20日（水）本館A病棟にて病棟内レクが開催されました。今回のレクは「みんなでフルーツパフェを作って食べよう！」というものです。

それぞれ各テーブルに用意されたバウムクーヘンを盛り付け、コーンフレーク、フルーツ缶、ホイップクリームの順にデコレーションしていきます。みなさん大盛りのフルーツパフェを大変おいしそうに召し上がられて大満足だったご様子でした。



手作りパフェ！

演芸大会



平成20年2月21日（木）当院で初めての演芸大会が開催されました。多目的ホールを使い、歌にダンスに楽器演奏と大盛り上がりでした。なかでも患者さまに好評だったのが各病棟の代表者が出場したカラオケ大会でした。一人で、グループで、スタッフと・・・色々な形で自慢の歌を披露してくれました。

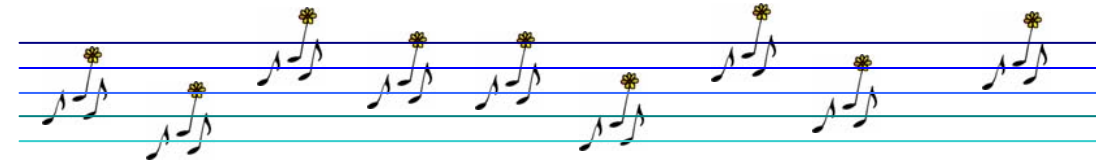


だんな様～♪

白鳥の湖

スタッフのギター演奏

合唱♪ふるさと



デイケアメンバーボランティア

平成20年2月27日（水）森林公園クリニックのデイケアメンバーの方々によるボランティアがございました。今回は、入院中の患者さまに地域生活の先輩であるデイケアメンバーが日常生活の様子などを話していただきました。患者さまの中には地域生活をするにあたって不安や悩みを抱えている方がたくさんいます。今回の活動はそういった患者さまの励みになったようです。



真剣な話し合い



ボランティアメンバーの方々



家族懇談会



平成20年3月1日（土）第3回家族懇談会が開催されました。今回は32家族46名にご参加いただきました。

前半は作業療法士による精神科リハビリテーションの説明・リハビリ棟の見学、後半は各病棟に分かれての懇談会をおこないました。今後も有意義なものになるよう皆様のご参加をお待ちしております。次回は9月を予定しております。



作業療法の説明会



患者さまの作品です！！